

入学者選抜についてのQ&A

【推薦入学について】

Q1 推薦入学の目的は何ですか？

本校の単位制では、受検生の目的意識や様々な能力、自律心（自己管理能力）等を積極的に評価したいと思います。また、中学校3年間の諸活動をいままで以上に評価することにより、本校で学ぶにふさわしい生徒を受け入れることを目的としています。

Q2 推薦入学は、希望すればだれでも応募できるのですか？

平成31年3月に中学校卒業見込みの者で、県教育委員会が定める応募資格と、本校の校長が定める推薦要件を満たし、在籍中学校の校長先生の推薦があれば応募できます。

Q3 学校長が定める推薦要件とは、どのようなものですか？

- 1 本校の単位制について理解しており、その中で自分の将来について真剣に考え自己実現を図りたいと願う者
- 2 日常生活の中で規則やマナーを守る習慣がしっかり身に付いており、日々の学習に真面目に取り組み、次のいずれかに該当している者
 - ① 学習活動で優良な成果を上げており、入学後もその成果が期待できる者
 - ② 生徒会活動や学級活動、その他の学校行事等に熱心に取り組み、入学後も積極的な活動が期待できる者
 - ③ 部活動等に3か年熱心に取り組み、入学後も継続して活動が期待できる者
 - ④ ボランティア活動や校外活動等に熱心に取り組み、入学後も継続して活動が期待できる者

Q4 自分が推薦要件を満たしているかよくわからない場合はどうすればよいのですか？

中学校の担任の先生に相談してください。本校の推薦要件を満たしているかどうかは各中学校で判断されます。

Q5 推薦入学の面接で実施される「自己表現」ではどのようにすればよいのですか？

面接では、受検生全員に、自分の長所や物事に対する関心・意欲などを積極的にアピールしてもらいます。このアピールの方法として「自己表現」を取り入れることとします。自己表現とは、みなさんの個性や特性を的確にとらえることを目的としたものです。特別な成果や記録などを求めているものではありません。平素の学習活動や特別活動などの体験を通じて、自分の取り組んだ事柄や地道な活動を自由に発表できればよいとします。発表の出来、不出来について評価するものではありません。

自己表現（2分程度）では、「教科活動」「部活動」「生徒会活動や学級活動」「ボランティア活動や校外活動等」の中から、一つの分野を選び、自らの体験（成果）を、言語（日本語）によって自由に発表してもらいます。実技や演技は用いず、すべて言語（日本語）で行うこととします。表現分野については、自己表現届出書（後日指示）によって事前に届け出てもらいます。

Q6 推薦入学に不合格となっても第一次募集(一般入試)は受けられますか？

受けることができます。

Q7 第一次募集(一般入試)を受けるとき、推薦入学に不合格となっていたら不利ですか？

不利になることはありません。

Q8 推薦入学に合格をしたら、入学辞退はできないのですか？

入学辞退はできません。

【第一次募集について】

Q1 なぜ、全員に面接をするのですか？

受検生一人一人の個性や意欲、本校単位制に対する目的意識等をみるためです。

Q2 第一次募集(一般入試)の面接には「自己表現」はないのですか？

「自己表現」はありません。

Q3 学校指定教科検査は実施されますか？

英語のみの1教科で実施します。

Q4 調査書等による選抜とはどのような選抜ですか？

学力検査の成績が一定以上である者について、本校の単位制の特色に応じ、調査書等によって選抜します。この選抜による合格者数は入学定員の15%以内です。

Q5 自己申告書を提出すると不利ですか？

不利になることはありません。